

授業科目	泌尿器病態学 I・II (講義・演習, 演習・実習) (臨床専門医コース)		
取得する専門医の名称	日本泌尿器科学会専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位×2 演習・実習 4単位×2	関連分野等	男性性機能、尿路性器感染症、泌尿器腫瘍、排尿機能障害など
年次・期別	1年次—2年次	曜日・時限	(講義・演習) 火・木曜日： 午前7時30分—8時30分 (演習・実習) 月 - 金曜日 終日
教室	泌尿器病態学分野研究室、岡大病院泌尿器科カンファレンスルーム	担当者電話番号	086-235-7287 (渡辺豊彦)
担当教員	【研究科】 准教授：渡辺豊彦 【病院】 教授：那須保友 渡部昌実 講師：荒木元朗、小林泰之、和田耕一郎 助教：杉本盛人、谷本竜太、高本篤		
一般目標	一般泌尿器科学の診療と手術手技について十分な知識と技術を修得するとともに、特定の泌尿器科専門領域(サブスペシャリティ)の知識を修得し、臨床研究の実施可能な泌尿器科専門医を目指す		
到達目標	1、日本泌尿器科学会の定める、医療人としての必要な基本姿勢・態度を身につける。 2、泌尿器科学総論、一般泌尿器科診療、泌尿器科基本的手術手技に必要な基礎知識ならびに技術を修得、理解し、研修単位を獲得したうえで専門医試験に合格する能力を獲得する。 3、泌尿器科学の臨床研究を理解でき、自ら研究を施行し、大学院終了時までには博士論文を作成し、専門分野の雑誌に掲載あるいは受理されること。		
講義概要	1) 泌尿器科学講義(講義・演習) 担当：渡辺豊彦、荒木元朗、小林泰之、杉本盛人、和田耕一郎 主に、男性性機能、尿路性器感染症、泌尿器腫瘍、排尿障害、腎移植の分野について学習し、日本泌尿器科学会の定める泌尿器科診療に必要な基礎的知識を取得する。また、毎週行われる泌尿器科抄読会に参加し、泌尿器科英文雑誌より最新の泌尿器科知見を得る 2) 外来、入院診療(臨床実習)(演習・実習) 担当：那須保友、小林泰之、和田耕一郎、 外来診察、病棟での入院診療の直接担当医として、日本泌尿器科学会が定める、泌尿器科診療における各種症状・徴候の判断、各種泌尿器科疾患の理解とその鑑別診断、入院患者に対する全身、局所管理を身につける。泌尿器科医療チームにおけるリーダーシップをとれる能力をつける。 3) 検査の施行(臨床実習)(演習・実習) 担当：渡辺豊彦、荒木元朗 日本泌尿器科学会の推奨する泌尿器科診療に必要な診察法、検査を指導医の下で担当医として実施することで習熟し、それを独力でいき、さらに臨床応用できる知識、技術を身につける。 4) 手術、処置の施行(臨床実習)(演習・実習) 担当：那須保友、渡辺豊彦、小林泰之 日本泌尿器科学会の定める各種手術、処置において、指導医のもと、担当医として泌尿器科領域の基本的治療に関する意義、原理を理解し、適応を決め、手術手技を習得し、治療前後の管理が独力でできる能力を身につける。執刀医や助手として経験すべき十分な数の手術に携わり、主たる執刀医となりえる能力を身につける。また、手術ビデオの視聴および学外での手術見学を行う。 5) 症例検討会(演習)(講義・演習) 担当：小林泰之 毎週火曜日朝のフィルムカンファレンス、木曜日の病棟症例検討会に参加し、泌尿器科臨床における討論を交わす。また、病院内の各科横断型のカンファレンスである泌尿器放射線カンファレンスにも参加して、泌尿器科領域における放射線診断学も学ぶ。 6) 各種セミナー、教育プログラム(演習)(講義・演習) 担当：渡部昌実、荒木元朗 毎月行われる泌尿器科内各研究室のリサーチカンファレンスに参加し、基礎、臨床研究についての討論を交わす。また、学会や専門医会などの主催する様々なセミナーに出席して、最新の知識を身につける。さらに、日本泌尿器科学会卒業・生涯教育プログラムを最低1コース受講する。 7) 学会参加、雑誌投稿(講義・演習) 担当：那須保友、渡辺豊彦、谷本竜太、高本篤 日本泌尿器科学会総会、日本泌尿器科学会西日本総会ならびに日本泌尿器科学会岡山地方会に、原則毎回参加する。また、大学院終了時までには総会1回、西日本総会1回、地方会2回の業績発表を行う。国際学会であるアメリカ泌尿器科学会、ヨーロッパ泌尿器科学会、国際性機能学会、国際感染症学会、アメリカ癌学会、国際禁制学会の年次総会のいずれかに最低1回の参加と発表を行う。これら以外にも積極的に各種学会、研究会へ参加、発表し、日本泌尿器科学会専門医申請に必要な単位(100単位)を取得する。学会で発表した内容は、速やかに論文化し、英文雑誌に投稿する。		
テキスト・参考書等	専門書から論文まで多岐にわたるため、その都度指示する。また、インターネットを通じて自らが関連する文献を検索する。		
成績評価基準 成績評価方法	1週間に1回、指導教官を交えて、泌尿器科学基礎研究や臨床に関する議論を展開する。その内容と、日頃の診療姿勢、セミナーに対する姿勢などから総合的に判断する。		

研究活動との 関連	各研究室ではそれぞれ専門の臨床・研究を行っており、その延長上に、この授業科目が存在している。
基礎実習	ブタを用いた腹腔鏡基礎トレーニングは、1年次に1度行う。
臨床実習	臨床実習は、入院患者を指導医とともに受け持ち、手術の助手を通じて行っていく。
症例検討会	症例検討会は、毎週火曜日 7:30 よりフィルムカンファレンス、毎週木曜日午後より病棟症例検討会を行う。
講義日程	<p>講義は原則毎月第2火曜日、病棟講義室にて行う。現時点の講義予定を以下に示す。変更になる場合には、登録大学院生に事前に通知する。</p> <p>2017/4/11：尿路感染症に対するニューキノロンの正しい使い方 和田耕一郎先生</p> <p>2017/5/9：開腹手術後の皮下縫合についての最新の知見 荒木元朗先生</p> <p>2017/6/13：腎細胞がんに対する分子標的薬治療 江原伸先生</p> <p>2017/7/11：ロボット手術の展望 那須保友先生</p> <p>2017/8/8：腎移植についての基礎知識 荒木元朗先生</p> <p>2017/9/12：排尿障害の基礎 渡辺豊彦先生</p> <p>2017/10/10：骨盤性器脱に対する外科的治療 石井亜矢乃先生</p> <p>2017/11/14：前立腺癌における密封小線源治療の有用性 江原伸先生</p> <p>2017/12/12：GIDについて 杉本盛人先生</p> <p>2018/1/9：尿管鏡検査の適応 佐々木克巳先生</p> <p>2018/2/13：アメリカ腹腔鏡手術事情 小林泰之先生</p> <p>2018/3/13：夜尿症について 渡辺豊彦先生</p>
/本年度参加 が望ましい学 会等	<p>第105回 日本泌尿器科学会総会</p> <p>第68回日本泌尿器科学会西日本総会</p>